

電動鼻吸い器 S-80

取扱説明書

品質保証書付

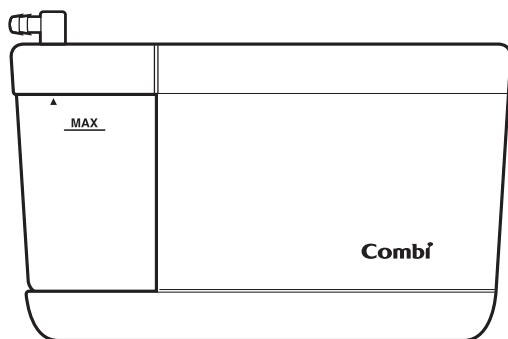
対象月齢 0ヵ月～

お子さまの安全のために、ご使用前には必ず本書および添付文書をお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。

■ 読み終えた本書は大切に保管してください。

■ 取りはずしてある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。

■ 本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。



目次

ご使用前に	1
使用目的および用途	1
安全にお使いいただくために	1
各部のなまえとはたらき	5
構成部品について	5
オーバーフロー防止装置	6
ご使用方法	7
使用前の準備	7
吸引の方法	8
吸引物の処理方法	9
ホースの収納方法	9
お手入れと保管方法	10
お手入れの方法	10
消毒・除菌について	11
煮沸消毒の方法	12
薬液消毒の方法	12
お手入れ後の組み立て方法	13
こんなときは	14
修理をご依頼される前に	14
吸引しないときは	14
記号について	15
廃棄方法	15
仕様	16
Q & A	17
品質保証書	18

日本国内専用

交流 100V 以外の電源では
使用できません。

ご使用の前に

使用目的および用途

本製品は、鼻孔内の分泌物と粘液(鼻水)を取り除くための専用器です。

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまや操作をしているかたに危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を、危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」の2つに区分して示してあります。安全のために必ずお守りください。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示	表示の内容
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

⚠ 警告

- 本製品および各部品は、必ずお子さまの手の届かないところに保管してください。誤飲や自分で作動させようとした場合、ケガなど思わぬ事故の原因となります。万一、誤飲した場合は、ただちに医師に相談してください。
- お子さまに鼻の病気がある場合には、本製品を使用する前に医師に相談してから使用してください。
- 使用中に出血したり、お子さまが痛がる場合には、すぐに使用をやめ、ただちに医師に相談してください。
- 複数のかたが使用する場合は、その都度、吸引ノズルを新しいものと交換するか、洗浄し、消毒または除菌してから使用してください。ウイルスに感染するおそれがあります。
- ご購入後、はじめてご使用になるときや長時間使用しなかったときは、使用前に洗浄・除菌または消毒を行ってください。
- 吸引物がオーバーフローしないように吸引物の量を常に確認してください。吸引ポンプや配管の回路に吸引物が付着すると、故障の原因となります。
- 本製品は鼻孔内の分泌物と粘液(鼻水)を取りのぞくための専用器です。使用目的以外の用途では絶対に使用しないでください。(採血などへの使用は禁止です。)
- 本体および専用ACアダプタは防水構造ではありません。水やお湯などで丸洗いや、水に浸したりしないでください。感電、ショートのおそれがあります。
- 本製品に異常が生じた場合はただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。万一、故障した場合は内部の機器には触れずにコンシューマーストラザまでお問い合わせください。
- 絶対に分解、改造は行わないでください。発火や感電、ケガのおそれがあります。
- 使用時、お子さまから目を放さないでください。ホースがお子さまの首に巻きつくおそれがあります。
- 傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所には置かないでください。転倒しケガをするおそれがあります。

⚠警告

- 本製品および各部品は火気の近くや車内など高温になる場所、直射日光のあたる場所、振動衝撃を受けやすい場所での保管や使用はしないでください。故障や変形の原因となります。
- 子どもの手の届く場所に置かないでください。小さい部品を飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合はただちに医師に相談してください。

電源について

- 必ず当社指定の専用ACアダプタを使用してください。ACアダプタは交流100V(50Hz/60Hz)のコンセントに接続してください。異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災、故障、ケガのおそれがあります。
- コンセントは単独で使用してください。火災や漏電の原因になります。
- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しないでください。破損箇所のショートにより火災、感電のおそれがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。故障や火災、感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、触ったりしないでください。感電のおそれがあります。
- 電源コード、電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、はさみこんだりしないでください。
- お子さまに電源コードを触らせないでください。
感電・ヤケド・ケガなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 電源コードを無理に曲げる・引っばる・ねじる・束ねる・重いものをのせる・はさみ込む・加工する・高温部に近づけるなどをしないでください。火災・感電・ショートの原因となります。
- 定期的に電源プラグに付いたほこりを乾いた布でふき取ってください。ほこりがたまると、火災の原因となります。
- 本体に電源コードを巻きつけないでください。

△注意

- 本製品は必ず大人が使用してください。お子さまが使用したりしますとケガをするおそれがあります。
- 陰圧で鼓膜がアンバランスになるのを防ぐために、吸引中はお子さまに息を止めさせたり、口を閉じさせたり、唾液を飲み込ませないようにしてください。
- 固まったり極度に粘度が高くなった分泌物および粘液（鼻水）は、吸引できませんのでご注意ください。
- 本製品の付属品および別売品以外は使用しないでください。正常に動作せず、症状が悪化するおそれがあります。
- 10秒以上、ACアダプタや高温になっている部分に触れ続けしないでください。温度上昇によりヤケドの危険性があります。

操作および吸引について

- 1回の吸引は5秒程度としてください。短い吸引を繰り返し、少しずつ吸引してください。
- 吸引は片側の鼻孔ずつ行ってください。
- 鼻孔内が乾燥した状態では使用しないでください。
- 使用時に粘膜を傷つけないようにご注意ください。
- 吸引ノズルの先端を鼻孔内の粘膜に直接押し当ててふさぐことがないようにしてください。うまく吸引できないばかりか吸引力が上昇し危険です。
- 吸引ノズルは必ずお子さまの鼻孔に適したサイズを選んでください。
- 吸引ノズルを鼻孔に強く押し当てないでください。鼻孔を傷つけるおそれがあります。
- 吸引ボトルはパッキン、フロートセットを必ず吸引ボトルキャップに取り付けて使用してください。
- 浴室など高温多湿な場所での使用・放置・保管はしないでください。故障の原因になります。
- 本製品は周囲温度+5℃から+35℃、相対湿度30%から75%の環境で使用してください。正常に動作せず、症状が悪化する場合があります。
- 水気を十分に切ってから組み立てをしてください。吸引ポンプ内に水などが吸引されると故障の原因になります。
- 設定した吸引圧を変更する場合は、吸引圧ダイヤルの目盛りを確認しながら徐々に調整してください。
- 長時間の連続運転はしないでください。吸引ポンプの寿命を早める原因になります。連続運転は15分を限度とし、運転後は30分程度の休止時間を設けることをおすすめします。
- 本体や各部品を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。破損や故障、ケガのおそれがあります。
- 本製品を規定の連続使用時間を超えて連続運転しないでください。

保管について

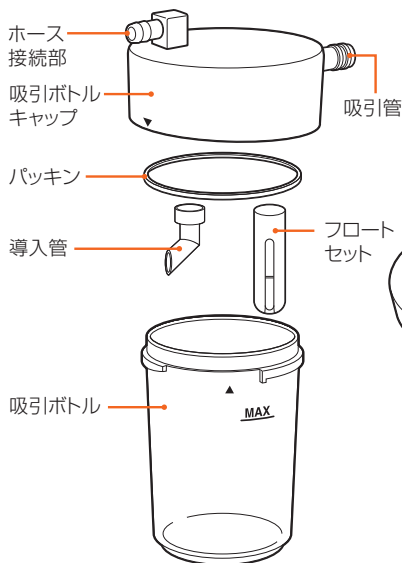
- 水のかかる場所には置かないでください。
- ほこり、塩分、イオウ分、湿気などの多い場所には置かないでください。故障や変形のおそれがあります。
- 傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所には置かないでください。転倒や落下などで破損、故障するおそれがあります。

⚠注意**お手入れについて**

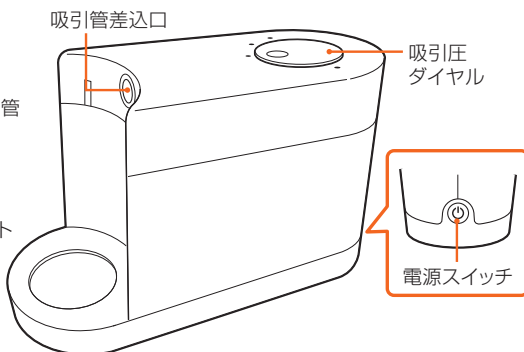
- 本体をオートクレーブ滅菌しないでください。故障の原因となります。
- 本製品の洗浄・除菌は取扱説明書のお手入れ方法に従い、正しく行ってください。
- 吸引後は吸引ノズル、吸引ホース、吸引ボトルおよび吸引ボトルの付属品は十分に水洗い後、除菌または消毒をしてください。感染するおそれがあります。
- 部品の取り付け、取りはずし、お手入れの際は電源スイッチをOFFにしてください。長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。感電やケガをするおそれがあります。
- 洗浄、除菌、消毒した部品は十分に水洗いを行い、速やかに乾燥させた上、必ず清潔な場所に保管してください。乾燥が十分でないと雑菌が繁殖し、感染するおそれがあります。
- エチレンオキサイドガス(EOG)除菌をしないでください。エアレーションが不十分な場合、残留、残存したエチレンオキサイドガスにより人体に影響を及ぼすおそれがあります。
- 除菌の前に必ず洗浄を行ってください。汚れ、付着物がついたままでは、除菌または消毒の効果が低くなります。
- 長時間薬液に浸したり、薬液の濃度が濃いと製品が劣化することがあります。
- 煮沸消毒するときは、空焚きに注意してください。火災を起こす原因になります。
- 洗浄時の吸引においても、洗浄用の水などが吸引ボトルの上限を超えないように常に確認してください。
- 除菌は他の消毒剤や洗剤を混ぜないでください。消毒剤の効力が損なわれたり、危険な成分が生じたりするおそれがあります。
- 本体をベンジン、シンナーなど揮発性の薬品でふかないでください。故障の原因になります。

各部のなまえとはたらき

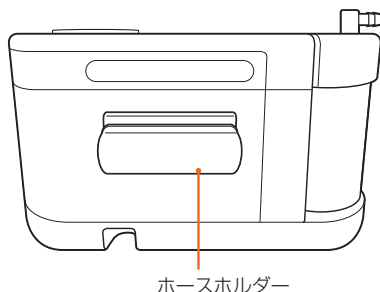
●吸引ボトル



●本体

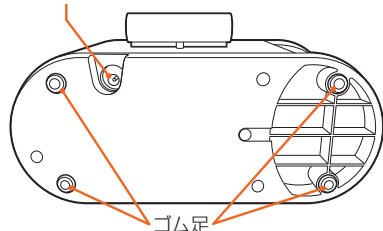


●本体側面



●本体底面

DC ジャック (専用 AC アダプタ)

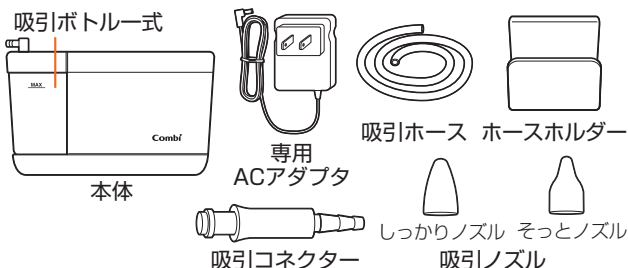


構成品について

各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。開封後すべてそろっていることを確認してください。

- 本体
- 吸引ボトル一式
- 専用 AC アダプタ
- 吸引ホース
- ホースホルダー
- 吸引コネクター
- 吸引ノズル
- 取扱説明書 (本書)
- 添付文書



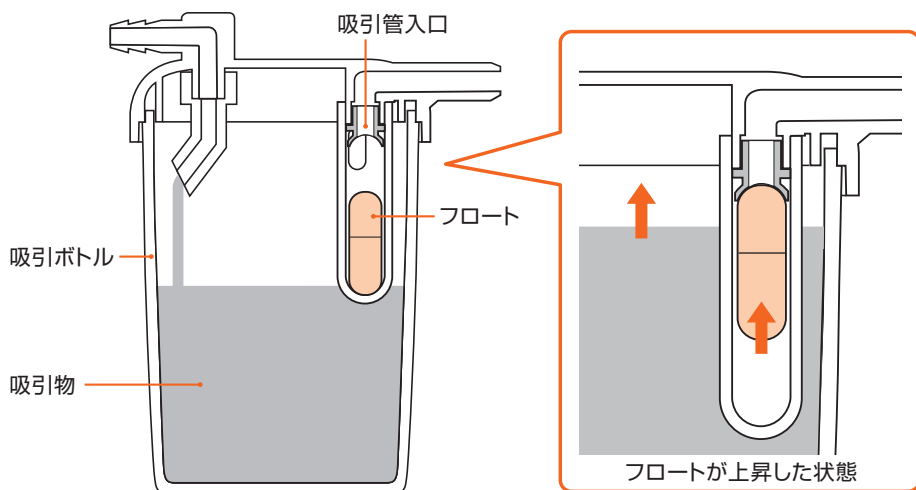
オーバーフロー防止装置

本製品は吸引物のオーバーフロー（溢れ出し）を防止するために安全機構を備えています。

吸引物の量がボトルのMAXライン（上限）を超えようとするときは、オーバーフロー防止装置が働き、吸引を停止します。

オーバーフロー防止装置の仕組み

- ①吸引物がいっぱいになるとフロートが上昇します。
- ②フロートが吸引管の入口をふさぎ、吸引物の吸い込みを停止します。



ワンポイント

吸引物がないときでも、作動中の本体の転倒やフロート部の付着物などによって、フロートが上がった位置で止まり、ノズルからの吸引が停止する場合があります。その場合は、いったん電源を切ってしばらく待つか、フロートのお手入れを行っていただき、フロートが下がっていることを確認してから再び電源を入れてください。

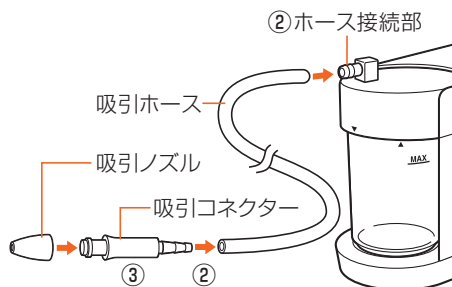
ご使用方法

使用前の準備

吸引ノズルをセットする

- ① 本体を水平で安定した場所に置く。
- ② 吸引ホースの片方をホース接続部に、もう片方を吸引コネクタに差し込む。
- ③ 吸引ノズルを吸引コネクタに差し込む。

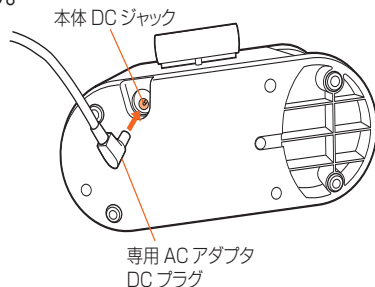
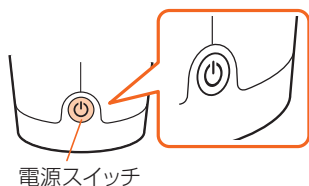
※吸引ノズルはお子さまの鼻孔に適したサイズを選んでください。



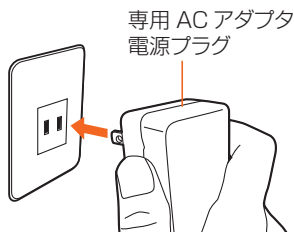
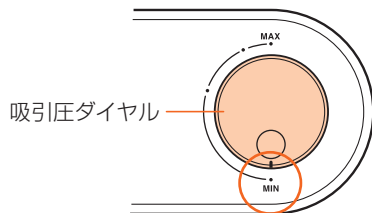
正しく組み立てられているかご確認ください。正常な吸引力が得られない場合があります。

電源を準備する

- ① 電源スイッチがOFF（押し込まれていない）になっていることを確認する。
- ③ 専用ACアダプタのDCプラグを本体底面のDCジャックに差し込む。



- ② 吸引圧ダイヤルがMINになっていることを確認する。
- ④ 専用ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

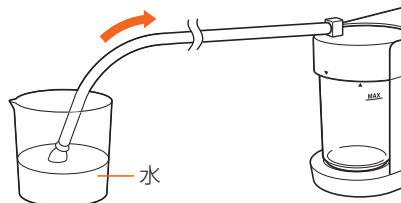
吸引の方法



- 吸引中は感染防止のため、ディスポーザブル手袋（医療用手袋）などの装着をお勧めします。
- 吸引物が吸引ボトルの上限を超えないようにご注意ください。吸引ポンプ内に吸引物が入ると故障の原因となります。

① 電源スイッチをONにし、吸引ポンプを作動させる。

② 吸引ノズルを清潔な水につけ、吸引ホース内に約20mlの水を通す。



ワンポイント



あらかじめホース内を湿らせることで吸引がしやすくなります。

③ 吸引ノズルをお子さまの鼻孔に挿入し、鼻水を吸引する。

※吸引ノズルがきちんと鼻孔をふさいでいるか確認してください。

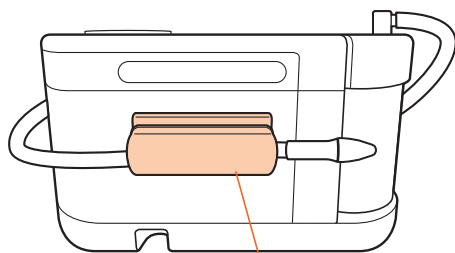
※約5秒間程度の吸引を2～3回に分けて行ってください。



吸引ノズルを鼻孔に強く押し当てないでください。鼻孔や粘膜を傷つけるおそれがあります。

④ 吸引終了後は、清潔な水を80kPaの吸引圧で断続的に吸引して、吸引ホースの簡易洗浄をする。

⑤ 吸引ホースの洗浄後、吸引ノズルを付けたまま吸引ホースの先端を本体のホースホルダーに差し込む。



⑤ ホースホルダー



ホースホルダーや床などに吸引物がついた際は、よく清掃してください。ウイルスに感染するおそれがあります。

ワンポイント



そっとノズルとしっかりノズルの使い分けかた



吸引ノズル
(そっとノズル)

鼻孔から出てきた粘液（鼻水）を吸引するときに使用してください。（先端を鼻孔奥に入れないでください。）



吸引ノズル
(しっかりノズル)

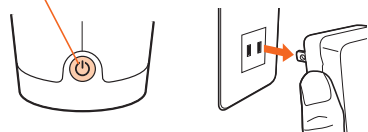
鼻孔内にたまった粘液（鼻水）を吸引するときに使用してください。

ご使用方法

吸引物の処理方法

- ① 電源スイッチをOFFにし、ポンプが停止したら電源プラグをコンセントから抜く。

電源スイッチ

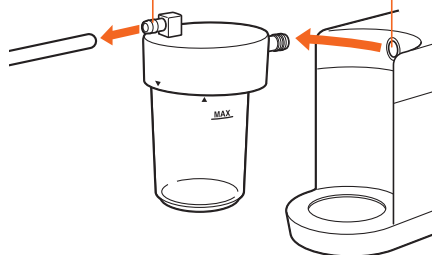


濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、触ったりしないでください。感電のおそれがあります。

- ② 吸引ホースをホース接続部から引き抜き、吸引ボトルを本体の吸引管差込口から取りはずす。

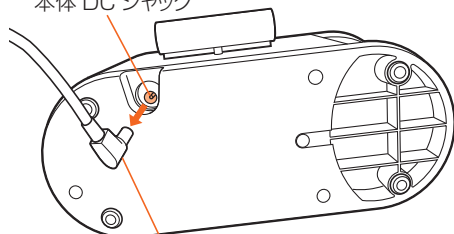
ホース接続部

吸引管差込口



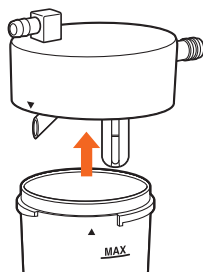
- ③ 専用ACアダプタのDCプラグを本体のDCジャックから抜く。

本体 DC ジャック



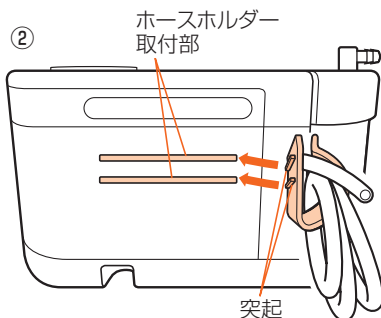
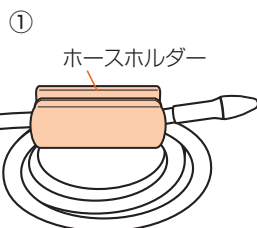
専用 AC アダプタ
DC プラグ

- ④ 吸引ボトルキャップを回して取りはずし、中の吸引物を捨てる。



ホースの収納方法

- ① ホースホルダーにホースを巻き付ける。
② 本体のホースホルダー取付部にホースホルダー裏側の突起を差し込む。

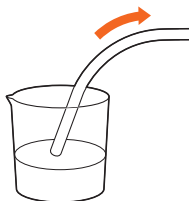


お手入れと保管方法

お手入れの方法

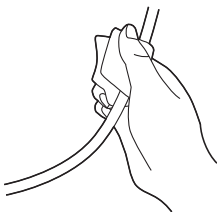
吸引ホース内部

中性洗剤を水で薄めた水溶液をホースに通し、洗浄します。



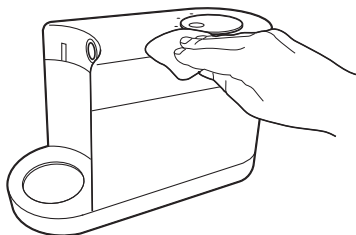
吸引ホース外部

中性洗剤を薄めた水溶液を用いて、やわらかいスポンジなどを使い洗浄します。



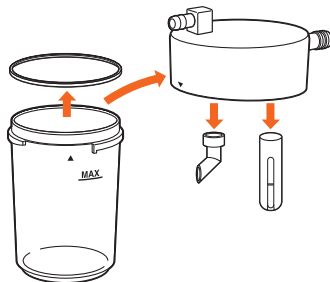
本体

- ①水か消毒用アルコールを湿らせた布で軽くふきます。
- ②汚れがひどい場合は、水で湿らせた布に中性洗剤の水溶液を軽くつけてふいてください。その後清潔でよく乾いた布などでふき取ります。



吸引ボトル

- ①吸引ボトルキャップを吸引ボトルからはずし、パッキン、フロートセット、導入管を吸引ボトルから取りはずします。



ワンポイント



パッキンが取りはずしにくい場合は、つまようじなど先の細いものをすき間に差し込んではずしてください。

- ②取りはずした各部品を、中性洗剤を薄めた水溶液を用いてやわらかいスポンジなどを使い洗浄します。



- ③各部品は11ページの「一覧表」に従って消毒してください。

注意

- 本体は防水構造ではありません。水やお湯などで丸洗いしたり、水に浸したりしないでください。感電、ショートのおそれがあります。
- 本体をベンジン、シンナーなど揮発性の薬品でふかないでください。故障の原因になります。

お手入れと保管方法

消毒・除菌について

※吸引ノズルなどシリコン部品のみ、消毒・除菌が可能です。



注意

- 3分以上煮沸しないでください。
過度の煮沸は製品を早く傷めます。
- 少ないお湯や小さい鍋で煮沸すると、製品が鍋肌に密着して変形するおそれがあります。

部品名	材質の種類	耐熱温度	消毒・除菌方法		
			煮沸	電子レンジ	薬液
 吸引ボトル	PC (ポリカーボネート)	140℃	×	×	×
 吸引コネクター  ホースホルダー  吸引ボトル キャップ  フロートセット	ABS樹脂 (アクリロニトリル・ブタジ エン・スチレン)	80℃	×	×	×
 パッキン  吸引ホース  吸引ノズル  導入管  フロート弁	SI (シリコンゴム)	135℃	○	○	○

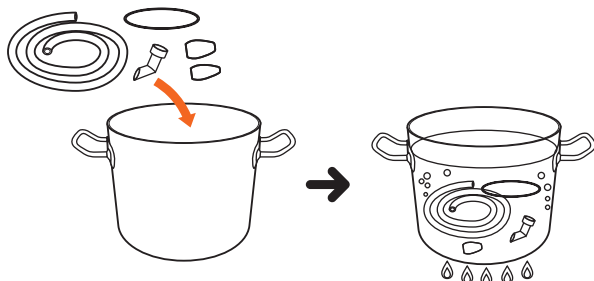
※家庭向け哺乳用品用の用具や薬剤をご使用ください。詳しくは、各用具や薬剤などの使用方法に従ってください。

※煮沸の際は、たっぷりのお湯を沸騰させた鍋に2～3分入れてください。

煮沸消毒の方法

※煮沸消毒できる部品：パッキン・吸引ホース・吸引ノズル・導入管

- ① 部品を厚手の鍋などの容器に入れます。部品はそれぞれ分解して入れてください。
- ② 部品が完全につかるまで水を入れて沸騰させ、そのまま2～3分程度煮沸します。
- ③ 部品を取り出し、速やかに乾燥させます。



⚠
注意

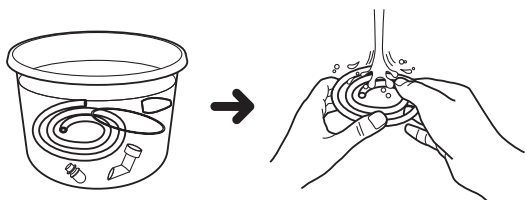
部品を取り出す際は、高温に注意してください。
ヤケドのおそれがあります。

薬液消毒の方法

⚠
注意

- 消毒をする前に必ず洗浄をしてください。
- 各種消毒液の希釈濃度および浸け置き方法は、各消毒薬付属の添付文書に従い、用法、容量を守り正しくお使いください。高濃度もしくは必要以上に長時間の浸け置きは部品を劣化させる原因になります。
- 洗浄・消毒をした部品は、十分に水洗いを行い、速やかに乾燥させた上必ず清潔な場所に保管してください。

- ① 部品全体が十分に浸け置きできる深めの容器で行います。ホースなど管状の部品は空気が残らないようにして、部品全体を浸します。
- ② 消毒液が残らないように水で十分にすすぎます。



⚠
注意

消毒後は必ず水洗いをし、消毒液を洗い流してください。残った消毒液が気化して内部機器を腐食するおそれがあります。

- ③ 直射日光を避け、十分に陰干しします。

お手入れと保管方法

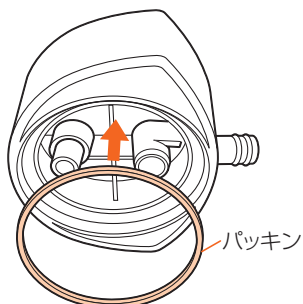
お手入れ後の組み立てかた



水気を十分切ってから組み立てを行ってください。吸引ポンプ内に水気などが残ると故障の原因になります。また、吸引ボトルは必ずパッキン、フロートセットを吸引ボトルキャップに取り付けてご使用ください。

1 吸引ボトルキャップを組み立てる。

- ①パッキンを吸引ボトルキャップの内側に取り付けます。

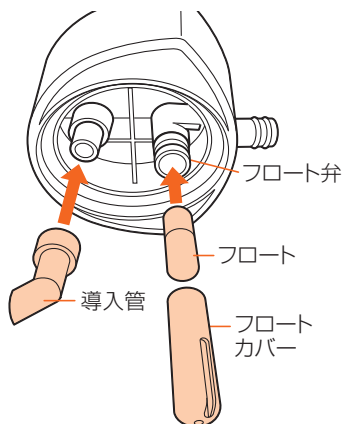


ワンポイント



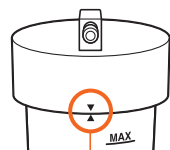
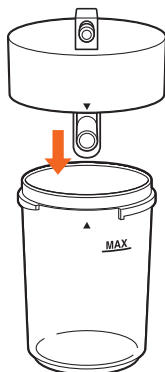
パッキンが取りはすしにくい場合は、つまようじなど先の細いものをすき間に差し込んではずしてください。

- ②フロートセット（フロート、フロートカバー）と導入管をそれぞれの配管に取り付けます。



2 吸引ボトルキャップを吸引ボトルに取り付ける。

吸引ボトルキャップの▼マークをボトルの▲マークに合わせ、吸引ボトルキャップを右回りに「カチッ」と音がするまで回します。



三角マークを合わせ

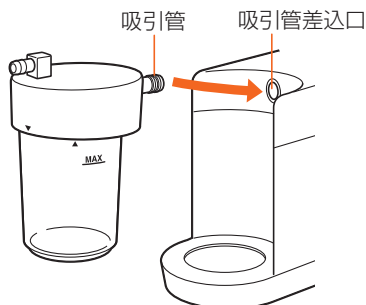


キャップを「カチッ」と音がするまで回す。

3 吸引ボトルを本体に取り付ける。

吸引ボトルの吸引管の先端を本体の吸引管差込口に差し込んで取り付けます。

※組み立てが終了したら、清潔な場所に保管してください。



- 本製品および各部品は火気の近くや車内など高温になる場所、直射日光のあたる場所、振動衝撃を受けやすい場所での保管や使用はしないでください。故障や変形の原因になります。
- 浴室など高温多湿な場所での使用・放置・保管はしないでください。故障の原因になります。

こんなときは ... 故障かな？とお思いになる前に

修理をご依頼される前に

使用中にトラブルが発生したときは、故障？とお思いになる前に以下を参照し、ご確認ください。

こんなときは	原因	対処方法	参照ページ
吸引ポンプが作動しない	電源プラグまたはDCプラグが抜けていませんか？	それぞれのプラグを正しく差し込んでください。	7ページ
	コンセントに電気が通じていますか？	電気の通じているコンセントを使用してください。	—

吸引しないときは

チェック項目	対処方法	参照ページ
吸引ボトルは本体に正しく取り付けられていますか？	吸引ボトルの吸引管の先端を奥まで入れなおしてください。	13ページ
吸引ボトルのパッキンは吸引ボトルキャップに正しく取り付けられていますか？	パッキンを吸引ボトルキャップに正しく取り付けてください。またパッキンに汚れなどがついていている場合は洗浄して落としてください。	13ページ
吸引ボトルキャップはボトルにしっかりと取り付けられていますか？	すき間などがないようにしっかりと締め付けてください。	13ページ
吸引ボトルと吸引ボトルキャップに亀裂が入っていませんか？	亀裂のある部品は交換してください。 コンシューマープラザにお問い合わせください。	裏表紙
フロートが上がった位置になっていませんか？	いったん電源を切ってしばらく待つか、フロートのお手入れを行っていただき、フロートが下がっていることを確認してから再び電源を入れてください。	6ページ 10ページ 13ページ
上記以外	コンシューマープラザにお問い合わせください。	裏表紙

修理、サービスをお申し付けになる前に、上記チェック項目をお調べください。点検後なお異常がある場合は、ご自分で修理はせず、当社コンシューマープラザまでご連絡ください。連絡先は、裏表紙をご覧ください。

※ヒューズの交換について

ヒューズは本体内部にあります。ヒューズの交換はご自分で修理はせず、当社コンシューマープラザまでご連絡ください。連絡先は、裏表紙をご覧ください。



絶対に分解、改造は行わないでください。
発火や感電、ケガのおそれがあります。

こんなときは

記号について

本体や部品に表示されているマークや取扱説明書に記載されている記号などの説明です。

記号	名称	説明	記号	名称	説明
	クラスⅡ機器	電源に対する保護の形式クラスⅡであることを示す。電撃に対する保護を基礎絶縁だけに依存せず。追加保護手段を備えた機器です。		電源入/切	電源の入/切を表す。
	直流コネクタ極性	直流プラグまたはジャックの極性を示す。		注記、警告、附属文書 JIS T 0601-1 表 1.1、No.10	操作前に関連する附属文書を参照する必要があることを示す。本書（取扱説明書）および添付文書をよくお読みの上、正しくお使いください。
	B型装着部	電源に対する保護の程度はB型装着部であることを示す。JIS T0601-1規格に規定されている要求事項に適合しています。		EMC適合	本製品はEMC規格「JIS T0601-1-2:2012」に適合しています。ただし、他の医療機器、電子機器との併用において相互に影響を生じる場合があります。本書（取扱説明書）および添付文書に従って正しい設置、取り扱いをしてください。

廃棄方法

廃棄方法はお住まいの各自治体の指示に従い、適切に処分・廃棄を行ってください。

仕様

販売名	電動鼻吸引器 S-80
認証番号	229AFBZX00095000
医療機器分類	管理医療機器
類別	機械器具32医療用吸引器
一般的名称	電動式可搬型吸引器
電撃に対する保護の形式	クラスⅡ機器
電撃に対する保護の程度	B型装着部
最大吸引圧力	- 80kPa ± 10%
吸引圧調整	機械式
排気流量	15L/min ± 20%
吸引容器の内破に対する耐久性	JIS T 7208-1:2012に適合
チューブの耐圧性	JIS T 7208-1:2012に適合
吸引ボトル容量	150ml
電源（専用ACアダプタ）	入力：100V～50/60Hz 29VA 出力：12V--- 1.5A
連続使用時間	15分
使用環境温湿度	+ 5℃～+ 35℃ 30%PH～75%PH（ただし結露なきこと）
使用環境大気圧	800hPa～1060hPa
保管環境温湿度	- 10℃～+ 60℃ 10%PH～75%PH（ただし結露なきこと）
外形寸法	W230×D100×H130mm（突起部含まず）
本体質量	約1,000g
付属品	本体、吸引ボトル一式、専用ACアダプタ、吸引ホース、吸引コネクター、吸引ノズル、ホースホルダー、取扱説明書（本書）、添付文書

●製造販売業者

株式会社 TR アンドK

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-9 NK第7ビル501

●製造業者

株式会社 八森電子デバイス

〒018-2643 秋田県山本郡八峰町八森字家の上166-2

●発売元

コンビ株式会社

〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-7

適合基準

EMC 適合

本製品はEMC 規格JIS T 0601-1-2:2012 に適合しています。

Q

赤ちゃんの鼻水を吸うにはどれくらいの吸引圧が理想的なのでしょう
うか？赤ちゃんに強い吸引圧で使用するの
は不安です。

A

強い吸引圧 (MAX: 80kPa) でもご使用に問題は
ありません。ただし、お子さまの様子をみてご
使用ください。

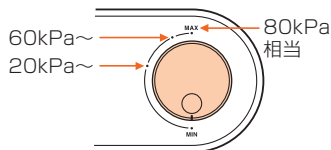
使用中に出血したり、お子さまが痛がる
場合には、すぐに使用をやめ、ただちに医師
に相談をしてください。

強い吸引圧が不安な場合には下記の吸引
圧はいかがでしょうか？

吸引圧ダイヤルのMAXからMINの間の
アイコン(●)は下記の吸引圧になっています。

20kPa ~ : 口で吸い取るのと同等の吸引
圧です。

60kPa ~ : 弊社で販売している電動鼻
吸引器 (ハンディタイプ) と同等の吸引
圧です。



[吸引圧ダイヤル]

※吸引圧は自社調べ

Q

電動鼻吸引器を使用すると赤ちゃんが
怖がりそうで不安です。使用時、赤ちゃん
を怖がらせないポイントはありますか？

A

お子さまは大きな音で怖がる可能性
がありますので、なるべく本体とお子
さまを離してお使いください。また、
お子さまの顔の前に急にホースなどが
くると怖がる場合がありますので鼻
水を吸引しているときは、壁にアニメ
のキャラクターなどを取りつけ、キャ
ラクターに視線を集中させるなどを
して意識をそらすようにしてはいか
がでしょうか。

Q

使用するうえで、注意する点などは
ありますか？

A

鼻の中を傷つけないようにご使用
ください。

小さなお子さまの肌は敏感でかぶ
れやすいので、垂れた鼻水は早めに
ふきとってあげるようにしましょ
う。

鼻水がたまったらまだとお子さん
も寝苦しいので、夜、寝る前にと
ってあげるのがおすすめです。

品質保証書 電動鼻吸い器 S-80

本書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザにお問い合わせください。

保証規定

1. 1 度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無償で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザまでお送りください。
3. 保証期間内でも次のようなものは有償修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (c) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (d) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (e) 本書のご提示がない場合。
 - (f) 一般家庭以外で、業務用などにご使用され故障した場合。
 - (g) 有償修理の場合に要する発送運賃。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスはいたしかねます。
5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

製品名		ロットNo. 本体裏面のシールに記載	保証期間 お買い上げ日より1年間（ただし保証規定による）
お 客 様	お名前		お買い上げ日 年 月 日
	ご住所 〒	TEL	
販 売 店	店 名		住 所
			TEL

修理メモ

- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
- 領収書（レシート）を本書といっしょに保管してください。
- 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマープラザにお問い合わせください。
- 保証書にご記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護法の規定に従い、お客さまの故障修理についてのみ利用させていただきます。それ以外の用途には利用いたしません。



コンビ株式会社

■ ホームページ

www.combi.co.jp

■ オンラインショップ(部品購入窓口)

shop.combi.co.jp

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間: 9:30~17:00 (日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

■総合受付(各種ご相談)窓口 製品に関するお問い合わせ/修理のご依頼/各種ご相談/その他

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

■部品相談受付窓口 部品に関するお問い合わせ

TEL. (048) 797-1001 FAX. (048) 798-6109

*コンシューマープラザホームページ www.combi.co.jp/soudan